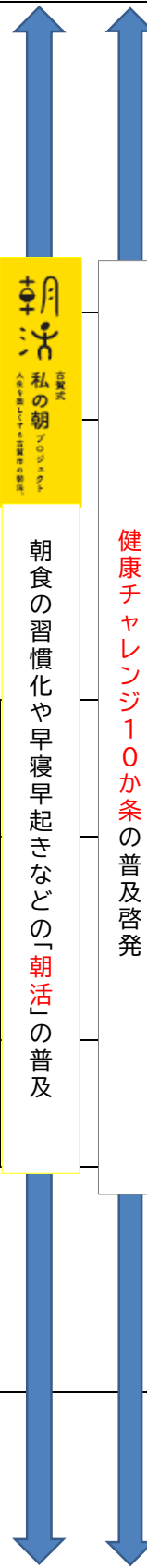


【基本理念】 あなたが主役 みんなで広める健康づくり

基本方針	4つの柱	2025(令和7年度)	
		実施項目	事業目的
ひとの健康づくり【一人ひとりにあった健康づくりの促進】 まちの健康づくり【健康を支えるための社会環境づくり】	たべる	【食を通じた健康づくり】 →資料4	○社会体験学習(調理実習)を通して、成長期の子どもたち自身が知っておきたい食事の栄養バランスの大切さについて知るとともに、自宅にある食材等を使い自分でも料理ができることを学び、生き抜くために必要な生活力を身に着ける。また高血圧や糖尿病を予防する減塩及び肥満防止対策として、塩分や砂糖などの過剰摂取を防ぐため、計量スプーンなどの健康啓発物品を交付することにより、健康意識の向上及び家族単位での健康づくりの推進を図る。
		【次世代に受け継ぐ食育】→資料5	
		【食環境づくり】 →資料6	
		◆生涯学習推進課、隣保館との連携	
	うごく	【身体活動の増加と運動習慣の定着】	○日常的な運動習慣がある人の増加を目指すと同時に、身体活動を増やして運動習慣を確立するための情報提供を積極定期に行う。
		◆生涯学習推進課との連携(朝活ウォーク)	
	まもる	【生活習慣病の発症予防(特定健診等)】 →資料7	○生活習慣の改善により予防可能ながん、循環器疾患、糖尿病及びCOPDなどの正しい知識の普及や定期的な健診受診を促し、生活習慣病の発症及び重症化予防に努める。
		【「計る(測る)」を取り入れた生活の推進】 →資料8	
		【歯・口腔の健康づくり】 →資料9	
	たのしむ	◆市民国保課との連携	○社会活動に積極的に参加できるよう情報提供を行うとともに、趣味や生きがいを見つけられる機会を増やす
【社会活動(地域活動・就労等)の促進】			
重点項目	子ども	【「骨」を介した健康づくりの推進】→資料10	○骨の成長には、食生活や運動、生活リズムなどの生活習慣全般の取り組みが大切であり、成長期の骨づくりが一生にわたり骨の基礎になることに着目した。丈夫な骨づくりを通して将来の生活習慣病を予防し、子どもの健康を支援する。
		◆学校教育課との連携	
	女性	【「女性ホルモン」の変化に応じた健康づくりの推進】 →資料11	○女性はライフステージに応じて女性ホルモンの分泌が大きく変化し、それに伴い心身にさまざまな影響を受けるため、男性とは異なる視点での健康支援が必要とされる。特に、働き盛りに訪れる更年期症状など現代的な課題への対応が求められ、女性の健康支援体制を整備・展開することを目的とする。
		◆人権センターとの連携	
	高齢者	【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進】 →資料12	○人生100年時代を見据え、高齢者ができる限り長く自立した日常生活を送ることができるよう、生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能の低下を防止するための支援を行う。自分らしく健やかに安心して過ごせる社会の構築をめざすため、高齢者の特性を踏まえ効果的かつ効率的な保健事業を推進する。
◆地域包括支援センターとの連携 ◆地域活動サポートセンター「ゆい」との連携 ◆福祉課福祉相談係との連携			
地域人材育ちと	【人材育成と地域活動の活性化】 →資料13	○地域の団体や小中学校での健康づくり、体力づくり、食生活習慣に関する事業をサポートする活動を普及し、市民の健康づくり等に関する意識づけ、並びにサポーター自身の生きがいや健康につながるよう、人材育成や地域活動の環境整備を充実する。	

◆ 連携に関すること



健康チャレンジ10か条の普及啓発

健康チャレンジ10か条の推進

◆目的

市民一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、主体的な健康づくり活動の実践・習慣化をめざすため、家族や仲間と共に日々実践できる健康チャレンジ10か条の推進を図る。

◆令和7年度実施内容

①健康チャレンジ10か条推進委員会

参加者：各団体の代表者（古賀市食生活改善推進会、古賀すたいる、古賀市スポーツ推進委員、古賀市子育て応援サポーター、古賀市介護予防サポーター、ヘルス・ステーション、古賀市社会福祉協議会福祉会連絡会、古賀市こもこもネットワーク、古賀市シニアクラブ連合会、古賀市健康づくり推進員）

実施回数：年4回（6月、9月、11月、2月）

内容：各団体での10か条周知に関する取り組み状況についての報告とより広く周知を図るための協議を行っている。

②健康チャレンジ10か条（ポスター・リーフレット）の配布・設置

○学校○

- 大人版：小学6年生の保護者、中学3年生保護者
- 子ども版：小学4年生、中学1年生

○関係機関○

粕屋北部消防署、古賀市商工会、古賀市役所、サンコスモ古賀、リーパスプラザこが、隣保館、千鳥苑、クロスパルこが、児童館、保育所、幼稚園、JR古賀駅、市内公民館、市内医療機関、市内歯科医院、野菜もりもり応援店、まつぼっくり食堂、ゆい、でんでんむし、各行政区、古賀市社会福祉協議会、福岡東労働基準協会、コスモス館

○その他○

各委員、各サポーター、イベント、出前講座、就学時健診、健診結果説明会、献血、ヘルス・ステーション情報交換会、市内介護施設

③出前講座（健康チャレンジ10か条ってなあに？）

- ・鹿部シニアクラブ ・久保成人学級
- ※測定の出前講座では、健康づくり推進員による10か条唱和や、10か条アンケートを実施。

④周知・啓発

- ・古賀市広報こがんと（6月号・10月号・11月号・2月号）
- ・古賀市ホームページ（10月）
- ・健康福祉まつりで啓発グッズの配布（10月）
- ・古賀市子どもわくわくフェスタ（11月）
- ・健康チャレンジ10か条WEBアンケート（2月）
- ・介護予防活動における周知（通年）



【課題及び今後の展望】

- ・健康福祉まつりや朝活イベントなどでアンケート調査の結果、10か条の認知については、「知っている」と答えた方が43%、「知らない、または実践について考えていない」と答えた方は22%であった。
- ・アンケート調査の回答者に若年層が少なく、関心の希薄さが考えられる。
- ・健康へ関心を持ち始める定年世代や認知度の低い男性、若い世代など対象を絞り、次年度以降の周知啓発方法について検討する。

古賀式私の朝プロジェクト



古賀式 私の朝 プロジェクト
人生を楽しむための朝の習慣。

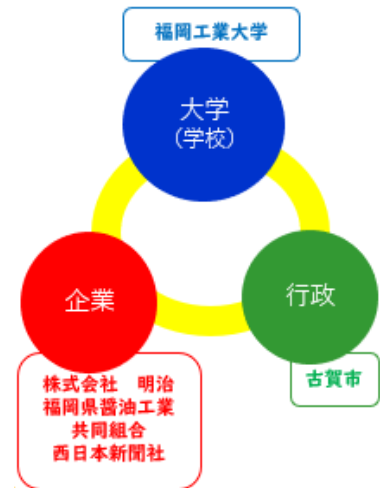
◆目的

古賀市、福岡工業大学、(株)明治、西日本新聞社、福岡県醤油工業協同組合の産学官が連携し、朝食の習慣化や早寝早起きを促し、朝の時間を有効活用する取り組みや市民の健康づくりを推進します。

◆プロジェクトメンバー

古賀市、株式会社明治、学校法人福岡工業大学、株式会社西日本新聞社、福岡県醤油工業協同組合

→産学官連携をキーワードにそれぞれの強みを生かした活動を実践する。



◆令和7年度取り組み内容

①子どもの健康づくり推進事業:資料10参照

②健康づくり応援イベント

◎イオン福津店でのイベント:9月21日開催。

- ・(株)明治より Inbody 体験コーナー、市管理栄養士の簡単おやつ【お麩ラスク】の試食体験ブースを設置。イオンモールとの出入り口近くの会場であったため、常時人の流れがあり、家族連れなどの若年層の集客もしやすかった。



◎サンリブ古賀店でのイベント:3月15日開催予定。

- ・田辺市長が古賀式私の朝プロジェクトをテーマに今年度の取り組みなど語るトークセッションなどを予定。また体験ブースでは Inbody 測定や骨密度測定などの健康測定や、「混ぜるだけで食生活を改善する」黄金比の炊き込みご飯のレシピ紹介などを予定している。

③本プロジェクトの定着・拡大

◎通学合宿:1週間子どもたちが公民館で寝食を共にしながら、学校へ通う活動。地域のボランティアの方が中心となり実施。今年度から骨密度測定や健康講話、「子ども版健康チャレンジ10か条」の啓発を合宿に取り入れていただいた。またプロジェクトメンバーである(株)明治より、牛乳の寄贈がなされた。

※青少年育成課と連携し、令和7年度は、青柳校区、古賀西校区、花鶴校区で実施。



④古賀市立地企業への展開：商工政策課とも連携し、市内企業向けの健康増進イベントの実施に向けて企画中。

◆今後の展望

健康チャレンジ10か条の普及啓発を目的にイベント等を開催しているが、10か条の認知度は各世代で差があり、特に若い世代の認知度が低いため、イベント等を活用した啓発が求められる。

引き続き、朝食の習慣化や早寝早起きなどの「朝活」の普及に向け、子どもの健康に関する取り組みや健康づくり応援イベントなど多角的に取り組み、産学官連携を強化していくことで、実施内容の充実を図る。古賀市に在住する人だけでなく、古賀市で働く人への働きかけも行う。

食を通じた健康づくり

◆食育事業（令和7年度）※古賀市食生活改善推進会と協力して実施

①展示

- ・福祉まつり：朝食摂取、減塩・フレイル予防に関する展示

②調理実習と講話

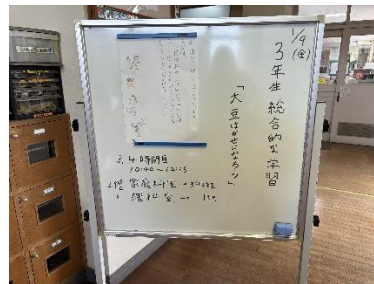
- ・筵内女性学級：11人
- ・古賀市子どもわくわくフェスタ：142人
- ・軽トラ市での野菜パネル展示、レシピカードの配布
- ・スタンドアローン支援事業（料理、イワシの手開き）



福祉まつり展示

③みそづくり

- ・くぼこども園
- ・ほづみこども園
- ・花見小学校
- ・かづる寺子屋みそづくり



ピエトロ食育事業

④ピエトロと連携した食育事業

- ・保育園、幼稚園：6カ所 1月21日終了



⑤リーパスカレッジ

- ・初心者大歓迎 Men' s Kitchen（日本料理、韓国料理）※全2回コース：6人
- ・親子料理教室「簡単おせち」：17人
- ・みそ作り・みそ玉、いなり寿司づくり※全2回コース：24人

【課題及び今後の展望】

- ・食生活改善推進会の活動が、自主的に活動することがまだ難しい。
- ・会員の高齢化。
- ・新しい会員が、参加できるようにプレで活動内容を体験できるようにしていく。
- ・食生活や健康に関する正しい知識を広く市民に伝えられるように、福祉まつり、保育園、幼稚園、学校との連携をとっていく。
- ・来年度は特に減塩食、「簡単朝ごはん」を中心に食事の大切さを市民に広げていく予定。

次世代に受け継ぐ食育

◆若い世代への減塩啓発事業



①婚姻届け

婚	年度	令和 5 年度(7 月～3 月)	令和 6 年度	令和 7 年度(R7.12 月末現在)
姻	配布数	111 セット	115 セット	66 セット
届	回答数	9 名	18 名	7 名

②妊娠届け

妊	年度	令和 5 年度(7 月～3 月)	令和 6 年度	令和 7 年度(R7.12 月末現在)
娠	配布数	393 セット	385 セット	301 セット
届	回答数	42 名	61 名	30 名

③アンケート（妊娠届資料等活用について）

4	年度	令和 5 年度(7 月～3 月)	令和 6 年度	令和 7 年度(R7.12 月末現在)
か	回答数	85 名	128 名	85 名
月				



【課題及び今後の展望】

- ・ 事業評価を正確にするために回答者の増加を図る
- ・ 引き続き健康啓発物品の交付、およびアンケートを実施する予定

食環境づくり

- ・ レシピカード作成・配布 設置場所：市役所・サンコスモ・リーパスプラザ・コスモス館
- ・ YouTube 古賀市けんこうチャンネルの配信（協力課：学校給食センター）



【課題及び今後の展望】

- ・ 若い世代の食に対する興味が全体的に薄れているため、YouTube 等を利用した食育情報の発信、推進を積極的に実施する。
- ・ 調理の経験がない方でも動画を見ながら簡単に作れるようなメニューや学校給食と協力して給食人気メニューなどの動画配信をし、食に興味を持ってもらうよう工夫する。

生活習慣病の発症予防（特定健診等）

◆特定健診の実施状況

本市の特定健診受診率は、国の目標値である60%を達成していませんが、増加傾向にあります。（図表1）

令和6年度は、AIを活用した健診未受診者受診勧奨や、健診受診時に次年度の受診を確認する「おまかせ予約」などの取組みを継続するとともに、予約電話のフリーダイヤル化の導入など特定健診受診率向上対策を各種実施し、昨年度と同等程度の受診率となっています。

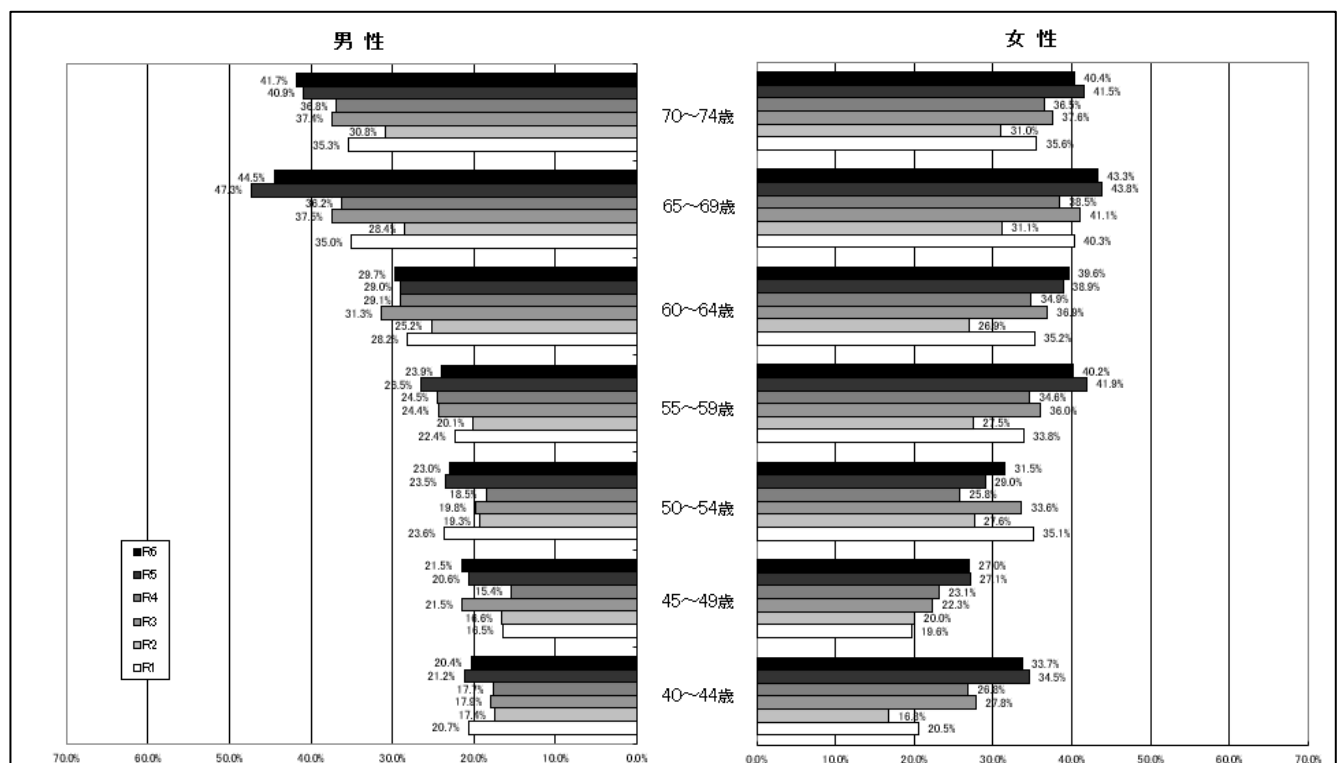
特定健診の受診率を年代別にみると、若い世代ほど低い傾向にあります。被保険者の健康状態を把握し、対象者に介入するためには、受診率が低い若い世代への対策の強化を含めた更なる特定健診の受診率向上が必要です。（図表2）

図表1 特定健康診査実施状況

		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
特定健診	対象者数	8,164人	8,152人	7,954人	7,572人	7,160人	6,797人	
	受診者数	2,708人	2,268人	2,772人	2,510人	2,731人	2,556人	
	受診率	古賀市	33.2%	27.8%	34.9%	33.1%	38.1%	37.6%
		県平均	34.2%	31.4%	33.3%	34.4%	35.1%	35.4%
		国平均	38.0%	33.7%	36.4%	28.8%	38.2%	集計中
	(参考)県内順位	48位	47位	37位	49位	37位	42位	
継続受診率	73.5%	59.5%	69.7%	63.8%	71.3%	67.9%		

出典：法定報告、保健事業等評価・分析システム

図表2 年代別特定健診受診率の推移



出典：法定報告（ヘルスサポートツールにて集計）

◆特定保健指導の実施状況

特定健診受診者には、健診時に保健指導の案内を実施し、集団健診受診者のうち特定保健指導対象者には、健診日当日に面談をし、さらに結果返却時に保健指導を実施する体制を整備しており、特定保健指導率は目標値である60%を継続して達成し、令和6年度も高い割合を維持しています。(図表3)

また、特定保健指導対象者には、就労等の理由により保健指導を継続して実施するのが困難な対象者も多く、特定保健指導対象者が保健指導を継続して受けやすい環境や体制の整備について、今後も検討を進めていきます。

図表3 特定保健指導実施状況

		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
特定保健指導対象者数		319人	269人	362人	317人	299人	272人
再掲	積極的支援	61人	72人	80人	83人	66人	61人
	動機付け支援	258人	197人	282人	234人	233人	211人
特定保健指導実施者数		226人	177人	252人	219人	237人	214人
実施率	古賀市	70.8%	65.8%	69.6%	69.1%	79.3%	78.7%
	県平均	45.1%	38.9%	43.0%	43.1%	45.1%	46.0%
	国平均	29.3%	27.9%	27.9%	28.8%	29.1%	集計中
(参考) 県内順位		19位	22位	23位	25位	13位	14位

出典：法定報告、保健事業等評価・分析システム

【課題及び今後の展望】

- ・国の目標である特定健診受診率60%の達成に向け、被保険者の特性に合わせた受診率向上対策を引き続き行います。
- ・特定保健指導対象者の減量や生活改善等の目標達成に向け、個別性に合わせた指導を引き続き行うとともに、さらなる保健指導率の向上に努めます。

「計る(測る)」を取り入れた生活の推進

◆健康づくり啓発事業(健康測定)等実施状況(2月10日時点)

事業・会場等		令和7年度		令和6年度実績				
市の事業	健康福祉まつり		1回	333人	1回	359人		
	他課との連携等	よかよか広場	3回	18人	3回	20人		
		地域リハビリテーション	2回	39人	5回	69人		
		その他講座等	2回	60人	5回	561人		
	子どもの健康づくり	青柳小学校	1回	37人	/			
		小野小学校	1回	57人				
		古賀東小学校	1回	集計中				
		古賀西小学校	1回	107人	1回	76人		
		花鶴小学校	1回	103人	/			
		千鳥小学校	1回	42人			1回	56人
		花見小学校	1回	95人				
		舞の里小学校	1回	53人	/			
		古賀中学校	1回	221人				
		古賀北中学校	1回	187人			1回	205人
		古賀東中学校	1回	116人	/			
人材育成(講座)	健康づくり推進員養成講座	1回	9人	2回			11人	
学校関係	古賀竟成館高校	文化祭	1回	184人			1回	135人
	古賀西小学校	6年生測定	/		1回	64人		
	古賀北中学校	1年生測定(希望者)			5回	132人		
	小野小学校	健康づくりプロジェクト	1回	326人	3回	427人		
地域関係	出前講座		13回	282人	20回	417人		
	ヘルス・ステーション		8回	223人	7回	234人		
	通学合宿	青柳校区	2回	56人	1回	45人		
		古賀西校区	1回	18人	1回	46人		
		花鶴校区	1回	7人	1回	7人		
企業	企業社員の健康づくり		1回	33人	2回	52人		
合計		48回	2,606人	61回	2,916人			

歯・口腔の健康づくり

第48回

生きる力を支えたい 粕屋歯科医師会

KASUYAデンタルフェア

地域で育む健口ライフ

よく噛んでおいしく食べていますか？



会場 古賀市 サンコスモ古賀

日時 令和7年

11月9日(日)

9:30~12:00

体験コーナー

- ちびっこ歯医者さんになろう(事前予約制)
- ちびっこ技工士さんになろう(先着20名)
- 口腔機能検査(口腔管理推進室出前講座)
- フッ化物洗口コーナー
- 美肌水分測定、年齢測定、骨密度測定
- 手のレプリカ作製(先着60名)と技工物展示

健診コーナー

- お口の無料健診・相談(成人・小児)
- 口腔がん検診
- フッ化物塗布

表彰・展示コーナー

- よい歯の表彰
- 小・中学生図画・ポスター展示(入賞者および古賀市作品)

特設コーナー

- 福岡女学院看護大学ブース



〒817-2014 福岡県古賀市日 260番地 TEL.092-942-1110

【交通のご案内】

Jバス(古賀)バス 古賀駅前下車 徒歩10分

西鉄バス125 古賀駅から徒歩10分

九州自動車道 古賀ICから徒歩10分

問合せ先 粕屋歯科医師会事務局 TEL092-712-1764

粕屋地区 歯と口の健康週間 図画・ポスターコンクール優秀作品展示

同時開催 古賀市 歯と口の健康週間 図画・ポスター小・中学生作品展示

主催/粕屋歯科医師会 古賀市 古賀市教育委員会

協賛/粕屋地区市町長協議会 粕屋郷町村会 粕屋区学校保健会 粕屋歯科協会
 粕屋地区歯科技工士会 粕屋歯科衛生士会 博多メデイカル専門学校
 福岡女学院看護大学 福岡ヤクルト販売(株) (株)ピエトロ

OKASUYA デンタルフェア参加者：699人

「骨」を介した健康づくりの推進

◆令和7年度実施内容

①生活習慣記録：平日5日間の生活習慣を記録。健康講話時に各児童・生徒に結果表として配布。

健康講話実施後（約3か月後）、再度生活習慣記録を同様に実施した。

学 校	日 程 (1回目)	日 程 (2回目)
青柳小学校	7月15日～7月18日	12月15日～12月19日
小野小学校	10月27日～10月31日	1月26日～1月30日
古賀東小学校	9月1日～9月5日	1月19日～1月23日
古賀西小学校	8月25日～8月29日	1月8日、1月13日～16日
花鶴小学校	9月8日～9月12日	12月2日～12月5日
千鳥小学校	8月25日～8月29日	12月8日～12月12日
花見小学校	9月8日～9月12日	1月19日～1月23日
舞の里小学校	9月1日～9月5日	1月19日～1月23日
古賀中学校	6月23日～6月27日	12月15日～12月19日
古賀北中学校	11月17日～11月21日	1月19日～1月23日
古賀東中学校	6月9日～6月13日	9月8日～9月12日



■児童の振り返りのコメント（抜粋）：もっと運動をしてもっとグラフを大きくしたいと思います。

■保護者の振り返りコメント（抜粋）：もう少し早く寝れるように母も頑張りたいと思います。〇〇も時計を見ながら少しでも早く取り組みを終えたり動けたらいいと思うよカルシウムもどんな食べ物がいいか、教えてね!!

②骨密度測定及び結果の返却・健康講話：市職員及び健康づくり推進員による骨密度測定、市職員による結果の見方についての説明を実施した。

また（株）明治の管理栄養士より健康講話（50分）を実施。



◆小学校

学校名/実施日/人数	性別	判定区分ごとの出現率 (%)				
		1	2	3	4	5
青柳小：8月28日 37人	男	3.64%	14.55%	30.91%	7.27%	0.00%
	女	0.00%	10.91%	23.64%	9.09%	0.00%
小野小：12月2日 57人	男	3.51%	14.04%	22.81%	8.77%	0.00%
	女	3.51%	8.77%	15.79%	22.81%	0.00%
古賀東小：10月30日 集計中	男	12.31%	20.00%	24.62%	4.62%	0.00%
	女	9.23%	7.69%	6.15%	15.38%	0.00%
古賀西小：9月30日 107人	男	6.85%	12.33%	9.59%	4.11%	0.00%
	女	0.00%	12.33%	36.99%	17.81%	0.00%
花鶴小：10月1日 103人	男	4.08%	16.33%	18.37%	10.2%	0.00%
	女	4.08%	13.27%	20.41%	13.27%	0.00%
千鳥小：10月21日 42人	男	0.84%	8.4%	22.69%	10.8%	0.00%
	女	1.68%	11.76%	17.65%	26.89%	0.00%
花見小：11月18日 95人	男	7.22%	12.37%	28.87%	5.15%	0.00%
	女	2.06%	15.46%	21.65%	6.19%	1.03
舞の里小：10月16日 53人	男	3.7%	18.52	18.52%	5.56%	0.00%
	女	5.56%	11.11	22.22%	14.81%	0.00%

◆中学校

学校名/実施日/人数	判定	1	2	3	4	5
古賀中：12月12日 221人	男	1.41%	8.79%	18.98%	17.57%	0.00%
	女	4.57%	16.87%	16.34%	15.47%	0.00%
古賀北中：12月10日 187人	男	2.54%	9.3%	13.95%	19.45%	0.00%
	女	5.07%	14.38%	20.93%	14.38%	0.00%
古賀東中：7月9日 116人	男	2.55%	14.6%	25.18%	20.44%	0.00%
	女	6.93%	10.95%	12.04%	7.30%	0.00%

③健康情報の提供：健康チャレンジ10か条の啓発・取組推進、給食だより、保健だより 等

【課題及び今後の展望】

◆骨密度測定結果

- ・測定結果では、小学4年生では判定4（やや少なめ）が女子に多いが、中学生では、女子の判定4が男子と逆転する。ホルモンの影響が考えられる。
- ・今後は、判定4以下の割合を減らすため、生活習慣の見直しを強化する。

◆骨密度測定・健康講話

- ・骨の成長・維持に欠かせない食事や運動習慣、生活リズムなどについて、子ども自身がよい生活習慣を獲得できるような内容を検討する。
- ・職員で骨密度測定を実施しているための対応体制の確保が必要。

◆学校との連携

- ・学校側に負担のないような事業の実施方法の検討。

◆今後の展望

- ・毎年の骨密度測定や生活習慣調査の分析結果を踏まえ、子どもたち自身が体に関心を持ち健康な生活習慣を送れるよう市や学校などの関係機関、家庭が一丸となって子どもたちの健康的な生活習慣の獲得に向けたサポートを実施する。

「女性ホルモン」の変化に応じた健康づくりの推進

◆令和 7 年度実施内容

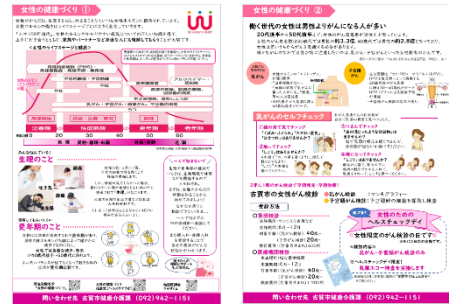
【女性の健康週間・国際女性デー パネル展示】

日程：令和 8 年 2 月 24 日（火）～3 月 13 日（金）

場所：サンコスモ古賀 玄関ホール

古賀市役所 市民ホール

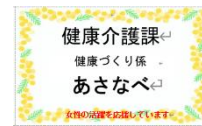
展示内容：女性特有の健康課題と女性の権利



【女性の健康週間・国際女性デーにあわせたミモザの名札の着用】

日程：令和 8 年 2 月 24 日（火）～3 月 13 日（金）

対象：保健福祉部・市民部の各課に所属する全職員



【女性のがん検診】

○子宮頸がん・乳がん検診の実施

≪実施内容≫

項目	実施方法	対象者	実施内容	受診者数 (令和 7 年 12 月末時点)
子宮頸がん	集団健診 個別健診	20 歳～（1 回/2 年）	子宮頸部の細胞を 採取し検査	1,254 人
乳がん		40 歳～（1 回/2 年）	マンモグラフィ	1,380 人

≪女性のがん検診受診促進事業≫

- ・ 無料クーポン券の発行：（子宮頸がん検診）20 歳 （乳がん）40 歳
- ・ 女性のためのヘルスチェックデイ（女性限定のがん検診の日）の開催
（実施項目）子宮頸がん、乳がん検診のみ。乳腺エコー検査実施（20～30 歳代推奨）
（場 所）リーパスプラザこが

【女性のからだに関するチラシやリーフレットの配布（女性のからだ、骨粗鬆症など）】

女性のライフステージごとの健康課題について、生理や更年期など女性ホルモンによるからだの変化や女性特有の病気などについて正しい情報の普及啓発。

- ・ 女子のためのヘルスチェックデイ（健診指導係）
- ・ 女性の健康週間（3/1～3/8）、国際女性デー（3/8）
- ・ 健康福祉まつり（10/19）



【今後の課題と展望】

- ・ 女性の健康は、各ライフステージで変化することから、対象者を明確にする必要がある。特に本市は女子の中学生での痩身傾向にあり、啓発が必要。
- ・ 男女共同参画係との共同事業を実施するなど、関係部署と連携して、女性の健康づくりについて広く普及啓発を行いたい。また、若年女性が集まりやすい高校での出前講座や幅広い年代が参加する地域での健康測定などでもリーフレット等を配付し、周知啓発を行いたい。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

◆令和6年度実施結果

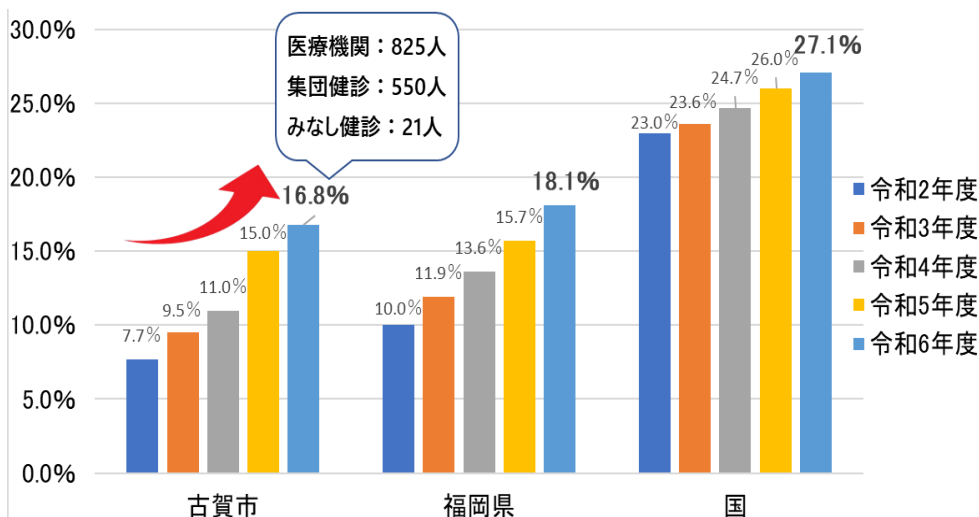
①高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）

事業項目	R6年度			住民の反応等
	対象者	対象者数	介入数	
●低栄養防止	健診結果でBMI20.0以下、 後期高齢者の質問票該当者等 (出前講座含む)	133	30	<ul style="list-style-type: none"> ・治療中断者は「数値が下がった」や「高い方が調子が良い」などの理由で受診や内服を中断される方が多かった。 ・コントロール不良者は、健診受診者が増加したこともあり対象者は増加。しかし介入を拒否される方も多かった。 ・健康状態不明者は、緊急を要する方もおられるため優先的に繰り返し訪問。半数以上の方に介入でき、2名の方が地域包括支援センターにつながった。
●重症化予防	治療中断者			
糖尿病 (糖尿病性腎症予防)	過去3年間糖尿病薬剤処方あり、 当該年度糖尿病薬剤処方歴、健診受診なし	40	10	
高血圧	過去3年間高血圧薬剤処方歴ある方で 当該年度高血圧薬剤処方・健診受診なし	40	8	
コントロール不良者（受診勧奨）				
糖尿病 (糖尿病性腎症予防)	HbA1c8.0%以上（糖尿病薬剤処方歴なし）、 CKD	40	10	
Ⅱ度高血圧以上	Ⅱ度高血圧以上のコントロール不良者	88	59	
CKD等	粕屋地区CKD・糖尿病対策連携システム該当者	165	23	
●健康状態不明者	健診、医療未受診者や介護サービス等につ ながっていない健康状態不明者	99	52	

②通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）

事業項目	R6年度		
	実施 個所数	参加人数	評価
通いの場等を活用した保健事業	42	946	実施個所数は昨年度より減少したものの参加者数は増加

◆令和6年度後期高齢者健康診査受診率



◆令和7年度実施内容

●地域を担当する医療専門職の業務（①ハイリスクアプローチと、②ポピュレーションアプローチは両方必須）

① 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ：ア～イのいずれか実施すればよいもの）

事業名	実施状況	要件※	対象者数	介入数	
ア	低栄養防止	—	R7はポピュレーションとして対応	25人	—
	口腔	—		—	—
	身体的フレイル	—		—	—
	重症化予防 (標準：R6結果)	○	コントロール不良（HbA1c8%以上）	1人	1人
			糖尿病治療中断	14人	10人
			コントロール不良（血圧Ⅱ度以上）	17人	17人
	重症化予防 (オリジナル R7集団健診結果)	○	高血圧治療中断者	97人	76人
粕屋CKD対象者			77人	77人	
コントロール不良（血圧Ⅱ度以上）			37人	36人	
		コントロール不良（HbA1c8%以上） *粕屋糖システム対象者含む	21人	19人	
イ	重複多剤	—		—	—
ウ	健康状態不明者	○	KDB抽出、75～79歳。 80歳～は福祉相談係に情報提供	77人	62人

※対象除外要件：要支援・介護認定者、がん・うつ・認知症のレセプト病名があるもの

※要件重複者あり

※対象者数・実績数はR8.2.6現在

② 通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）

- 地域の公民館等で行うヘルス・ステーションや地域出前講座等において、健康測定会（InBody、血圧等）及び健康講話、健康相談を実施。
- 低栄養教室：3月実施予定。

【今後の課題と展望】

- ・古賀市の高齢化率は、県平均を上回っており、国保データヘルス計画や介護保険事業計画などを活用して、介護給付費抑制の効果検証が必要。
- ・後期高齢者の増加に伴い、健康課題を抱える高齢者も増加しており、関係機関との連携が必要。
- ・健診受診率は、広域連合および市内医療機関との連携により向上を図る。また健康状態不明者等の対象者把握に関しても引き続き医療機関と連携して取り組む。
- ・経験が浅い保健師が多く、データ読解力や住民対応力、関係機関との連携技術に課題があり保健師の力量形成を強化する。

人材育成と地域活動の活性化

◆健康づくり推進員・食生活改善推進会

「健康づくり推進員」、「食生活改善推進員」は、市民の健康増進・介護予防を地域で支える人材として、健康づくり活動や食育活動を実施。

【今年度の主な活動内容】

○健康づくり推進員

- ・ 定例会として、毎月勉強会を開催。
- ・ 地域の公民館やヘルスステーション等で、健康測定（体組成、握力、足指力等の測定）の実施。
- ・ 特定健診、がん検診の受診勧奨。
- ・ 健康チャレンジ10か条の普及啓発。

○食生活改善推進員

- ・ 地域に対する食育事業（減塩、フレイル予防など）。
- ・ 小学校や保育園でみそづくり。
- ・ パネル展示（減塩、フレイル予防、朝食、野菜）、大型紙芝居（減塩、フレイル予防、朝ごはん）など。
- ・ 市事業への協力。（スタンドアローン支援事業、古賀式私の朝プロジェクト、子ども料理など）
- ・ 健康チャレンジ10か条の普及啓発。

【活動人数】

※令和7年12月末現在

小学校区名	健康づくり推進員（人）	食生活改善推進員（人）	校区合計
青柳	0	3	3
小野	4	3	7
古賀東	8	3	11
古賀西	7	9	16
花鶴	11	5	16
千鳥	4	3	7
花見	5	6	11
舞の里	11	5	16
合計	50	37	87

【今年度の人材育成状況】（令和8年1月末時点）

○健康づくり推進員（全2回）

- ・ 令和7年6月に健康づくり推進員養成講座を全2回実施。（10名申込、9名受講、9名委嘱。）

○食生活改善推進員（ヘルスマイト養成講座）（全8回）

- ・ 令和7年11月までに終了。（10名申込、10名修了、4名食生活改善推進会加入予定。）

【課題及び今後の展望】

- ・ 人数、性別の地域間格差をなくしサポーターが率先して地域を引っ張っていけるように、サポーターの主体的な活動を支援していく。
- ・ サポーターの高齢化や新しいサポーターが増えないという現状に加え、測定会、食育事業ともに需要の増加に伴いサポーターの慢性的な人員不足がある。

◆ヘルス・ステーション

地域住民が主体となり地域の公民館等の施設を有効に活用しながら、子どもから高齢者までの健康づくりや介護予防を推進する行政区にヘルス・ステーションを設置する事業。補助金の有無にかかわらず設置することが可能。

【設置状況】

令和7年度：15地域（青柳区が新たに設置）

花鶴丘3丁目区、花鶴丘1丁目区、花見東2区、花見南区、庄北区、中川区、舞の里2区、中央区、花見東1区、日吉台区、庄南区、千鳥東区、町川原2区、町川原1区、青柳区

補助金申請地域：6地域

【主な活動内容】

《各地域での活動》

健康測定会、ウォーキング、ラジオ体操、健康セミナー、健康体操、親子クッキング、健康フェスタ、室内軽スポーツ（室内ペタンク、スカットボール、ボールンピック、ポッチャ、ヨガ、吹き矢等）

《ヘルステ情報交換会》

○実施日：令和8年2月6日（金）

○参加地域：10地域（ヘルステ設置区：10地域、検討地域：0地域）

○実施内容

- ・古賀市の現状（人口・高齢化率・健診受診率など）、ヘルス・ステーションの目的と期待される効果について説明
- ・補助金申請、健康チャレンジ10か条、地域リハビリテーションの説明
- ・情報・意見交換（情報交換シートの共有とグループワーク）
ヘルス・ステーションを運営するうえで良かったことや課題など



【課題及び今後の展望】

- ・ヘルス・ステーションは地域づくりを健康の視点で支援する事業であるが、未設置地域においても地域の特性に応じた地域事業を展開しているところもあり、地域に出向き、各地域の課題を把握した上での支援を実施したい。
- ・現在設置しているヘルス・ステーションでは運営の担い手不足や参加者が集まらないといった課題がある。気軽に相談できる市の体制づくりや地域同士の情報交換会を開催することで解決策を提案し、地域づくりを担う人材同士をマッチングすることで継続した運営ができるよう支援していく。
- ・新たにヘルス・ステーションの設置を検討している地域については、設置に向けての支援（地域役員などへの説明や書類の作成など）を実施していく。